

平成18年度診療報酬改定に伴う後発医薬品の使用状況等に関する アンケート調査（第2回）（速報値）

平成19年6月27日
日本薬剤師会 医療保険委員会

I. 調査概要

<p>〔第2回調査〕（今回） 調査主体：日本薬剤師会 医療保険委員会 実施期間：平成18年12月18日～平成19年1月25日 調査方法：Web（日薬ホームページ）を通じて実施 調査客体：日本薬剤師会の委員会（医療保険委員会、職能対策委員会）の委員が属する保険薬局、および、各委員を通じて協力かつ回答が得られた617薬局</p>
--

＜参考＞ 第1回調査（前回） 調査主体：日本薬剤師会 医療保険委員会
 実施期間：平成18年7月14日～8月6日
 調査方法：Web（日薬ホームページ）を通じて実施
 調査客体：日本薬剤師会の委員会（医療保険委員会、職能対策委員会）の委員が属する保険薬局、および、各委員を通じて協力かつ回答が得られた126薬局

II. 調査結果（速報値）

前回調査（第1回、126薬局）および今回調査（第2回、617薬局）を通じて共に回答が得られたのは46薬局と限られており、それぞれの集計結果を単純に比較することはできないことから、ここでは前回調査結果を参考として掲載した。

【問1】「後発医薬品への変更可」等の処方せんの取扱状況などについて

(1) 処方せん取扱状況（1施設あたり）

処方せん枚数、算定回数	今回調査（n=617）			参考：前回調査（n=126）		
	平成18年 10月	平成18年 11月	増減 (10月→11月)	平成18年 4月	平成18年 5月	増減 (4月→5月)
取り扱い処方せん枚数（総数）	1,217.7枚 (100%)	1,227.3枚 (100%)	+9.7枚	1,915.7枚 (100%)	1,992.5枚 (100%)	+76.8枚
「後発医薬品への変更可」等の処方せん枚数（一般名処方も含む）	242.5枚 (19.9%)	247.0枚 (20.1%)	+4.5枚 (+0.2%)	347.7枚 (18.2%)	371.5枚 (18.6%)	+23.7枚 (+0.5%)
実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数(1品目でも変更した場合を含む)	26.3枚 (2.2%)	26.9枚 (2.2%)	+0.6枚 (±0.0%)	31.2枚 (1.6%)	35.8枚 (1.8%)	+4.6枚 (+0.2%)
後発医薬品情報提供料の算定回数	10.2回 (0.8%)	10.2回 (0.8%)	±0.0回 (±0.0%)	4.1回 (0.2%)	4.9回 (0.2%)	+0.8回 (±0.0%)

注1) 下段の（ ）内は、取り扱い処方せん枚数（総数）に占める割合を示す。

注2) 本数値は、端数を四捨五入して表示しているため、増減に係る表示において若干のズレが生じる場合がある。

注3) 「後発医薬品への変更可」等の処方せんとは、一般名処方による処方せん又は「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名若しくは記名・押印のある処方せんを指す。以下、同じ。

(2) 「後発医薬品への変更可」等の処方せんの主な診療科（複数回答）

選択肢	今回調査 (n=617) 平成18年10月～11月	参考：前回調査 (n=126) 平成18年4月～5月
内科	86.9% (536)	82.5% (104)
精神科、神経科	17.3% (107)	19.0% (24)
小児科	9.6% (59)	19.0% (24)
外科	11.8% (73)	19.0% (24)
整形外科	33.7% (208)	34.1% (43)
皮膚科	13.3% (82)	19.0% (24)
産婦人科	4.2% (26)	6.3% (8)
眼科	14.7% (91)	15.1% (19)
耳鼻咽喉科	18.0% (111)	27.0% (34)
その他	15.1% (93)	19.0% (24)

注（ ）内は回答薬局数を示す。

【問2】薬局、薬剤師としての対応状況について

(1) 患者が後発医薬品を希望した場合の対応（複数回答）

選択肢	今回調査 (n=617) 平成18年10月～11月	参考：前回調査 (n=126) 平成18年4月～5月
備蓄している後発医薬品に変更して調剤した	71.2% (439)	70.6% (89)
必要な後発医薬品の備蓄がなかったため、 直ちに手配して調剤した	41.7% (257)	51.6% (65)
処方せんに記載されている医薬品を調剤した （必要な後発医薬品の備蓄がなかったため直 ちに手配したが、結果的に対応できなかった）	14.7% (91)	29.4% (37)
その他	11.3% (70)	24.6% (31)

注（ ）内は回答薬局数を示す。

< (2) : 省略 >

(3) 直ちに必要な後発医薬品を手配できなかった場合の対応（複数回答）

選択肢	今回調査 (n=617) 平成18年10月～11月	参考：前回調査 (n=126) 平成18年4月～5月
後刻、患者宅等に届けた	51.5% (318)	46.8% (59)
後刻、再度来局してもらった	45.9% (283)	45.2% (57)
患者に説明の上、先発医薬品を調剤した	22.5% (139)	42.1% (53)
その他	8.9% (55)	20.6% (26)

注（ ）内は回答薬局数を示す。

(4) 薬局における後発医薬品の採用基準（複数回答）

選択肢	今回調査 (n=617) 平成18年10月～11月	参考：前回調査 (n=126) 平成18年4月～5月
オレンジブックに掲載されている医薬品	29.8% (184)	38.1% (48)
溶出性以外の科学的データ(安定性、生物学的同等性、添加物等)の揃っている医薬品	30.3% (187)	54.8% (69)
適応症	48.5% (299)	63.5% (80)
剤形等の付加価値のある医薬品	7.3% (45)	15.9% (20)
取引医薬品卸での取り扱いの有無	58.2% (359)	57.1% (72)
入手、納品に要する時間	65.8% (406)	61.1% (77)
安定供給	64.7% (399)	76.2% (96)
全規格の有無(品揃え)	5.3% (33)	12.7% (16)
小包装品の有無	54.3% (335)	50.8% (64)
メーカーによる情報提供、情報収集の体制	38.4% (237)	54.8% (69)
メーカーの規模、知名度	29.3% (181)	45.2% (57)
薬剤師会からの情報	8.9% (55)	14.3% (18)
薬価の低い医薬品(患者負担の軽減)	23.3% (144)	23.8% (30)
薬価差	9.7% (60)	10.3% (13)
その他	2.8% (17)	5.6% (7)

注) () 内は回答薬局数を示す。

【問3】患者の認識について

(1) 先発医薬品と後発医薬品の同等性（択一回答）

選択肢	今回調査 (n=617) 平成18年10月～11月	参考：前回調査 (n=126) 平成18年4月～5月
理解された	48.1% (297)	36.5% (46)
理解されなかった	2.4% (15)	4.8% (6)
どちらともいえない	49.4% (305)	58.7% (74)

注) () 内は回答薬局数を示す。

(2) 後発医薬品への変更理由

ア. 後発医薬品に変更された理由（複数回答）

選択肢	今回調査 (n=617) 平成18年10月～11月	参考：前回調査 (n=126) 平成18年4月～5月
医師にすすめられたから	16.0% (99)	18.3% (23)
薬剤師にすすめられたから	10.7% (66)	19.8% (25)
一部負担金が軽減するから	78.9% (487)	77.8% (98)
テレビなどのCMを見て	55.8% (344)	70.6% (89)
その他	5.5% (34)	7.9% (10)

注) () 内は回答薬局数を示す。

イ. 後発医薬品に変更されなかった理由 (複数回答)

選択肢	今回調査 (n=617)	参考：前回調査 (n=126)
	平成18年10月～11月	平成18年4月～5月
普段から使い慣れている薬が良いから	76.7% (473)	80.2% (101)
効果が同じであるか不安だから	50.4% (311)	48.4% (61)
一部負担金があまり変わらないから	51.4% (317)	61.1% (77)
とりあえず様子を見たいから	7.9% (49)	17.5% (22)
その他	9.1% (56)	10.3% (13)

注) () 内は回答薬局数を示す。

< (3) : 省略 >

【問4】 保険医療機関への情報提供について

(1) 情報提供の方法／頻度

ア. 方法 (複数回答)

選択肢	今回調査 (n=617)	参考：前回調査 (n=126)
	平成18年10月～11月	平成18年4月～5月
郵送	6.8% (42)	18.3% (23)
電話	28.5% (176)	16.7% (21)
ファクシミリ	59.0% (364)	61.1% (77)
患者を通じて (薬剤情報提供文書)	42.8% (264)	22.2% (28)
患者を通じて (お薬手帳)	51.5% (318)	24.6% (31)
その他	11.5% (71)	27.0% (34)

注) () 内は回答薬局数を示す。

イ. 頻度 (複数回答)

選択肢	今回調査 (n=617)	参考：前回調査 (n=126)
	平成18年10月～11月	平成18年4月～5月
調剤毎	61.1% (377)	47.6% (60)
1日毎	10.0% (62)	25.4% (32)
次回受診時まで	21.2% (131)	19.0% (24)
週毎または月毎	6.8% (42)	8.7% (11)
その他	7.3% (45)	10.3% (13)

注) () 内は回答薬局数を示す。

(2) 情報提供に対する保険医療機関からの要望等 (択一回答)

選択肢	今回調査 (n=617)	参考：前回調査 (n=126)
	平成18年10月～11月	平成18年4月～5月
有り	6.6% (41)	32.5% (41)
無し	93.4% (576)	67.5% (85)

注) () 内は回答薬局数を示す。

【問5】 その他（医療安全対策、後発医薬品の使用促進策などについて）

(1) 備蓄医薬品の増加／変更起因するヒヤリ・ハット事例の発生（択一回答）

選択肢	今回調査 (n=617) 平成18年10月～11月	参考：前回調査 (n=126) 平成18年4月～5月
発生した	7.8% (48)	7.9% (10)
発生していない	92.2% (569)	92.1% (116)

注（）内は回答薬局数を示す。

(2) 備蓄医薬品の増加に伴う取り間違え等の防止対策（複数回答）

選択肢	今回調査 (n=617) 平成18年10月～11月	参考：前回調査 (n=126) 平成18年4月～5月
薬効別の在庫管理の導入、徹底	11.5% (71)	10.3% (13)
後発医薬品の容器に成分名（又は先発医薬品名）を記載	26.6% (164)	16.7% (21)
鑑査業務の充実、徹底	54.6% (337)	55.6% (70)
特に対策は講じていない（これまでと同様の対策）	27.6% (170)	27.0% (34)
その他	15.2% (94)	19.8% (25)

注（）内は回答薬局数を示す。

(3) 後発医薬品の使用促進にあたり、最も良かったと思われること

選択肢	今回調査 (n=617) 平成18年10月～11月 注) 択一回答	参考：前回調査 (n=95) 平成18年4月～5月 注) 自由記載回答
患者負担の軽減	51.4% (317)	29.5% (28)
患者とのより良い信頼関係の構築	10.9% (67)	10.5% (10)
薬剤師職能の発揮	7.9% (49)	75.8% (72)
備蓄医薬品数が抑えられる	0.5% (3)	※自由記載方式によるため、 その他の回答内容は省略
特になし	28.0% (173)	
その他	1.3% (8)	

注（）内は回答薬局数を示す。

(4) 後発医薬品の使用促進にあたり、最も困っていること、または最も不安なこと

選択肢	今回調査 (n=617) 平成18年10月～11月 注) 択一回答	参考：前回調査 (n=102) 平成18年4月～5月 注) 自由記載回答
備蓄医薬品の増加	41.8% (258)	35.3% (36)
デッドストックの増加	43.3% (267)	11.8% (12)
情報提供にかかる手間の増加	8.9% (55)	8.8% (9)
特になし	2.9% (18)	※自由記載方式によるため、 その他の回答内容は省略
その他	3.1% (19)	

注（）内は回答薬局数を示す。

(5) 「日本薬剤師会・医薬品データシートデータベース」について（択一回答）

選択肢	今回調査 (n=617)	参考：前回調査 (n=126)
	平成18年10月～11月	平成18年4月～5月
知っている	46.4% (286)	※前回調査では該当設問なし
知らない	53.6% (331)	

注) () 内は回答薬局数を示す。

【問6】基礎的データ

< (1) : 省略 >

(2) 主な処方せん発行医療機関（択一回答）

選択肢	今回調査 (n=617)	参考：前回調査 (n=126)
	平成18年10月～11月	平成18年4月～5月
病院	37.8% (233)	30.2% (38)
診療所	61.3% (378)	69.8% (88)
不明	1.0% (6)	0.0% (0)

注) () 内は回答薬局数を示す。

(3) 医薬品の備蓄状況（1施設あたり）

備蓄医薬品	今回調査 (n=617)	参考：前回調査 (n=126)		
	平成18年11月	平成18年3月	平成18年5月	増減 (3月→5月)
医療用医薬品（全品目）	1005.5品目 (100%)	1085.4品目 (100%)	1124.0品目 (100%)	+38.7品目
うち、後発医薬品	100.6品目 (10.0%)	106.3品目 (9.8%)	129.9品目 (11.6%)	+23.6品目 (+1.8%)

注1) 下段の () 内は、医療用医薬品（全品目）に占める割合を示す。

注2) 本数値は、端数を四捨五入して表示しているため、増減に係る表示において若干のズレが生じる場合がある。

※本結果は、調査期間内に得られた回答のうち、自由記載による部分および保険調剤に係る基礎的データの一部を除いて集計した速報値であり、今後の集計作業に伴い、若干の変動が生じる可能性もあり得る。